




とうえい

令和6年7月12日
東栄小学校
学校だより第4号

お家でも「ありがとうの花」を!!



「1学期『ありがとうの花』をたくさん咲かせた人〜！」と東栄っ子たちに聞くと、多くの子が「はーい」と手を挙げてくれると思います。



これらの写真を見ると分かるように、東栄っ子たちは「そうじ」「あいさつ」「ありがとうにつながる行い」など、人の心に「ありがとうの花」を咲かせることが大好きです。おかげで、東栄小学校には「ありがとうの花」がたくさん咲いています。

そして、もうすぐ夏休みです。夏休みは「ありがとうの花」を東栄小から地域に広げ、子どもたちはもちろん、みんなで幸せになってしまおうという「ありがとうプロジェクト」をさらに進める絶好のチャンスです。東栄っ子の心の中にあふれている「ありがとうの花」を、家庭でさらに育て、より一層咲かせてください。すると、それぞれの家庭から、ご近所に広がって、東栄小校区がどんどん「ありがとうの花畑」になっていきます。そこで、保護者の皆様をお願いしたいのが「お手伝い」です。夏休み、子どもたちにお手伝いをたくさんさせてあげてほしいのです。



東栄っ子たちはお手伝い(=「ありがとうの花」を咲かせる行い)が大好きです。お手伝いをしたくて、うずうずしています。お手伝いをさせてあげて、うまくいっても、いかなくても、たくさんの「ありがとう」を浴びせかけるように言ってあげてください。最初はうまくできないかもしれませんが、続けていくうちに必ずうまくなります。

ここで、保護者の皆様が言いたくなることもよく分かります。「手伝わせることで、余計に面倒が増えるのよね」ということも。しかし、その面倒の向こうに、大きな幸せが待っています。「ありがとう」をたくさん浴びた子どもは、うれしくなって元気が出て、「お家の役に立ってるんだ」と大いに安心します。そうすると、どんどん「ありがとう」と言われる行いをしたくなり、本当の意味で、家族の役に立つようになり、ますますありがたい存在になっていくと思います。

子どもたちには、終業式の校長式辞でも、夏休みに、お家のお手伝いをすごくしたくなるような話をするつもりですので、ぜひとも夏休みは、家族のさらなる幸せのためにも、子どもたちにお手伝いをたくさんさせてあげてください。それが、2学期以降の東栄っ子たちの幸せにもつながり、しいては、ご家庭、地域の幸せにもつながるといふ好循環を生み出すと思います。1学期も「ありがとうプロジェクト」へのご協力、誠にありがとうございました。

(校長 中島学路)